

01_基本情報

企業名 / 屋号 / 拠点名など	買取天国 名古屋店
所在地	名古屋市港区〇〇〇〇-〇〇〇〇
連絡先	052-000-000

02_緊急事態における重要業務

災害発生後に優先すべき重要業務を選定し、目標復旧時間を設定します。

内容	復旧までの目安
従業員の安全確保 / 貴重品・高額商品の確保	1日
本社との連絡 / 近隣店舗の状況確認	1日
店舗運営の再開	30日

03_BCPの発動条件

所在地である[港区]において発生しうる災害を確認し、発動条件を定めます。

<input checked="" type="checkbox"/>	地震	震度[6強]以上を観測した場合。
<input checked="" type="checkbox"/>	津波・高波	津波・高潮警報が発令された場合
<input checked="" type="checkbox"/>	火災	店舗及び近隣建築物にて火災が発生した場合
<input checked="" type="checkbox"/>	洪水・内水氾濫	大雨・洪水警報の発令及び、近隣河川の氾濫が警戒される場合
<input checked="" type="checkbox"/>	土砂災害(地滑り等)	
<input checked="" type="checkbox"/>	液状化	

04_発災時の出勤・帰宅体制

従業員の出勤・帰宅体制の確認と、自社ルールを決定します。

	原則	自社独自ルール
出勤時間帯に発災	<input type="checkbox"/> 原則、自宅待機 <input type="checkbox"/> 自宅に近い場合は自宅 <input checked="" type="checkbox"/> 職場に近い場合は職場へ	
就業時間帯に発災	<input checked="" type="checkbox"/> 原則、職場内待機 <input type="checkbox"/> 外出中の場合は周辺の安全な場所で待機 <input type="checkbox"/> 来所者は職場内の安全な場所に誘導	職場の安全が確保できない場合は[港区小学校]に避難
帰宅時間帯に発災	<input checked="" type="checkbox"/> 原則、職場内待機又は職場に戻る <input type="checkbox"/> ただし、自宅の方が近い場合は、自宅又は周辺の避難場所等で安全確保	
在宅時に発災(休日等)	<input type="checkbox"/> 原則、自宅待機 <input checked="" type="checkbox"/> 身の安全を優先・維持した上で自社の近隣に住む社員を中心に当社	

※上記原則・ルールは、発災後、すぐに逃げないといけなような津波等の災害の場合は除きます!

※備蓄物資の確保より、まずは避難、身の安全の確保を優先しましょう!

05_減災の事前対策

備蓄物資は従業員1人に対し、最低3日分が目安。

■ 物資の備蓄

※④必要な備蓄量 = ①1人分の必要量(1日分) × ②日数(最低3日分) × ③従業員数

品目	①1人分の必要量(1日分)	②日数	③従業員数	④必要な備蓄量	保管場所	使用期限
飲料水	3L	3日分	50人	450 L	3階備品保管室	2024年2月
食料	3食			450食	同上	2024年3月
毛布	1枚			50枚	同上	-
簡易トイレ	5回分			250回分	同上	-

■ 保険共済への加入

休業補償・自然災害対策も必要。水害による被害が補償されるか契約内容を要チェック!

- 火災保険 ()
 地震特約 ()
 休業対応応援共済 ()
 福祉共済 ()
 生命保険 (プレデンシャル生命)
 業務災害保険 ()
 その他 ()

06_従業員間の連絡方法

※従業員のご家族同士も安否確認の方法を決めておくことが大切です!

- 電話
 LINE
 メール
 その他(現地確認)

07_復興する上での優先事項

※復興に必要なことの優先順位付けはBCP計画を立てる上で重要です。番号を記載して下さい。

- (1) ヒト (3) モノ (2) カネ () 情報 () 社屋

08_BCP発動時の組織体制及び発動時の流れ

緊急時の組織体制 / 作業内容を事前に決定します。

	担当及び副担当	初めに取り組むこと	次に取り組むこと
点呼・安否確認	小笠原	緊急時における組織図を元に安否を確認	確認できたものを都度幹部に報告
備蓄物資の管理	河合	実際避難に来る人数を確認	人数を元に支給品の割振りを決め配布する
貴重品の管理	大須賀	お金・貴重品を金庫で管理	確認できたものを都度幹部に報告
取引先への連絡			